

令和6年度

# 事業報告書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人 日本薬剤師研修センター

# 令和6年度事業報告

## I 研修・認定関係

### 1 各認定薬剤師の認定状況

国民の健康に寄与するため、薬剤師が生涯にわたり研修を続け、医療専門職としての職能を維持向上させていくことが重要である。公益財団法人日本薬剤師研修センター（以下「研修センター」という。）は、薬剤師の研修に対するモチベーションが維持でき、かつ国民にわかりやすい認定制度の運営に努めた。

また、薬剤師研修・認定電子システム（PECS）が令和4年4月1日より本稼働したことにより、研修受講や認定などほぼ全般に互って電子的な処理が行われるようになった。これにより受講者、認定者、研修実施機関等の利便性の向上が図られるとともに、不正の防止にも資することができている。

#### 1) 研修認定薬剤師

あらゆる職域における薬剤師の自己研鑽活動を支援するため、個々の薬剤師の研修実績を認定するものである。

令和6年度に研修認定薬剤師として認定した人数は36,951名である。

薬剤師生涯学習達成度確認試験は令和6年7月21日に行い、236名が受験し127名が合格した（合格率約54%）。

#### 2) 漢方薬・生薬認定薬剤師

研修センターと一般社団法人日本生薬学会とが共同で、漢方薬・生薬に関する専門的知識を修得し、能力と適性を備えた薬剤師を認定するものである。

令和6年度に漢方薬・生薬認定薬剤師として認定した人数は1,312名である。

#### 3) 小児薬物療法認定薬剤師

研修センターと日本小児臨床薬理学会とが共同で、小児科領域において医薬品に関わる専門的立場から医療チームの一員として小児薬物療法に参画するための能力と適性を備え、さらに患児とその保護者等に対しても適切な助言及び行動ができる薬剤師を養成し、認定するものである。

令和6年度に小児薬物療法認定薬剤師として認定した人数は365名である。

#### 4) 薬剤師研修・認定電子システム（PECS）の薬剤師登録者数

令和7年3月31日現在の薬剤師登録者数は193,020名であった。

## 2 研修実施機関の登録と単位の交付

### 1) 研修実施機関

研修センターの研修単位交付対象の研修を継続的に提供する機関（団体等）を研修実施機関としており、申請に基づいて審査し登録している機関と、実習のために研修センターで登録している機関がある。PECS本稼働後の実習機関以外の研修実施機関の種類は、集合研修実施機関、学術集会実施機関、e-ラーニング研修実施機関、ウェブ利用研修（集合研修即時配信）実施機関、ウェブ利用研修（学術集会）実施機関及びウェブ利用研修（集合

研修アーカイブ配信) 実施機関の6つである。実習機関としては漢方薬・生薬認定薬剤師のための薬用植物園と小児薬物療法認定薬剤師のための実習施設の2つである。

令和7年3月31日現在で1,084機関を登録している。

## 2) 研修単位の交付状況等

令和6年度の研修単位交付対象となる研修会等の開催申請を認めた数は9,508件である。

## 3) 研修会開催支援

研修項目の充実を図るため、当該都道府県において開催が特に必要と考えられる内容の研修会の開催を行おうとする都道府県薬剤師研修協議会からの申請をもとに審査のうえ、研修会開催経費の支援を行った。令和6年度は109件の支援を行った。

## 3 研修センターにおける研修会等の開催

現在研修センターが自ら行っている研修会等は、集合研修及びeラーニング研修である。

### 1) 病態・薬理シリーズ研修

医療薬学の最近の進歩にあわせ、疾患の病態については専門の医師が、疾患の薬物療法の実際については専門の薬剤師が、各々講義することを基本に組み立てた研修会で、令和6年度の前期の座学研修は、一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会の協力のもと、「肺がん」を大阪会場及び東京会場で開催し、それぞれ60名、106名が参加した。また、後期の座学研修は、「慢性腎臓病」について大阪会場及び東京会場で開催予定であったが、天候の都合により大阪会場は中止とし、東京会場のみで開催したところ91名が参加した。

なお、これらの研修を収録したDVDはeラーニングに供した。また、既収録のDVDを用いたeラーニングも継続的に行った。

### 2) 漢方薬・生薬領域の研修会

#### (1) 認定取得のための講義研修

一般社団法人日本生薬学会と共同で、漢方薬・生薬認定薬剤師の認定を取得するために必要な47コマ(1コマ70分)の講義を座学及びeラーニングにより行った。参加者数は座学99名、eラーニング500名であった。

#### (2) 薬用植物園実習

認定取得又は更新の目的のために、薬用植物園実習を全国61施設の協力を得て実施した。

#### (3) 認定更新のための研修

令和5年度の漢方薬・生薬研修会を認定更新者用にアレンジした講座を、eラーニングに供し、参加者数は1,213名であった。

### 3) 小児薬物療法認定薬剤師に係る研修会

#### (1) 小児薬物療法研修

収録及び配信をラジオNIKKEIに委託し、eラーニングによる研修を実施した(令和6年7月から令和7年2月まで)。配信数は36コマ(1コマ約1時間)で参加者数は250名であった。

#### (2) 1日実務研修

一部の小児薬物療法認定薬剤師の更新認定要件である1日実務研修を5施設で実施し、

11名が修了した。

#### 4) 健康サポート薬局研修（修了証交付）

公益社団法人日本薬剤師会と共同で健康サポート薬局研修に係る業務を実施した。令和6年度における研修修了証発行数は2,578件であり、令和7年3月31日現在で有効な修了証数は15,306件であった。

#### 4 薬剤師研修・認定電子システム（PECS）

令和元年度より構築を進め、令和3年3月に薬剤師の個人登録を開始し、令和4年4月1日に本稼働した。また、より利便性の高いものとなるよう本稼働後もシステムの改良を進めている。

さらに、令和6年11月から令和7年4月にかけて、次期研修業務システム導入に向けた技術的支援業務をコンサルタント企業であるKPMGに依頼して実施した。

#### 5 委員会等の開催

各認定制度の円滑な運営を協議するため適宜委員会を開催した。

また、研修センターが日本小児臨床薬理学会と共同で小児薬物療法認定薬剤師に係る認定業務等を行っていることから、厚生労働省が10月に公募した「小児医療にかかる認定薬剤師の実態等に関する調査事業」に応募したところ採択されたため、検討会組織を立ち上げ、令和7年3月末までに調査報告書を作成し、厚生労働省に提出した。

#### 6 広報

研修センターの広報は、①インターネットホームページ及び②毎月発行する「研修センターニュース」が主要な媒体であり、令和6年度も、その充実に努めた。

その他、日本薬剤師会雑誌など薬剤師の購読が多い雑誌にも掲載し、広報に努めている。

## II 出版・監修関係

### 書籍

薬剤師の研修に役立つ書籍を、出版社と協力して編集・発行しているが、令和6年度に新たに編集したものはない。ただし、令和3年度に編集した次の書籍の販売を引き続き行った。

第十八改正日本薬局方医薬品情報 JP DI 2021（じほう発行）

## III 法人関係

### 1 理事会、評議員会等

令和6年6月6日（木）に令和6年度第1回理事会を開催（ウェブ併用）し、令和5年度事業報告、令和5年度決算などを審議した。また、代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告などを行った。

令和6年6月25日（火）に令和6年度第1回評議員会を開催し、令和5年度決算を審議し、評議員を選任した。また、令和5年度事業報告などが報告された。

令和6年7月に、決議の省略の方式による臨時理事会を開催し、理事候補者の選定などを行った。

令和6年7月に、決議の省略の方式による臨時評議員会を開催し、理事の選任を行った。

令和6年8月に、決議の省略の方式による臨時理事会を開催し、評議員候補者の選任などを行った。

令和6年8月に、決議の省略の方式による臨時評議員会を開催し、評議員の選任を行った。

令和7年3月25日（火）に令和6年度第2回理事会（ウェブ併用）を開催し、令和7年度事業計画、令和7年度収支予算などを審議した。また、代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告などを行った。

## 2 賛助会員

令和7年3月31日現在の賛助会員の状況は、賛助会員（個人）248名、特別賛助会員（企業等）25社（団体）である。

# 令和6年度事業報告附属明細書

( )内の数字は令和5年度

## I 研修・認定関係

### 1 各認定薬剤師の認定状況等

#### (1) 研修認定薬剤師

令和6年度に研修認定薬剤師として認定した人数	36,951 名	( 46,155 名)
うち初回認定申請の認定者数	15,069 名	( 15,896 名)
うち更新認定申請の認定者数	21,882 名	( 30,259 名)
第8回薬剤師生涯学習達成度確認試験 (受験者)	236 名	( 135 名)
(合格者)	127 名	( 69 名)

#### (2) 漢方薬・生薬認定薬剤師

令和6年度に漢方薬・生薬認定薬剤師として認定した人数	1,312 名	( 1,120 名)
うち初回認定申請の認定者数	428 名	( 389 名)
うち更新認定申請の認定者数	884 名	( 731 名)

#### (3) 小児薬物療法認定薬剤師

令和6年度に小児薬物療法認定薬剤師として認定した人数	365 名	( 311 名)
うち初回認定申請の認定者数	177 名	( 147 名)
うち更新認定申請の認定者数	188 名	( 164 名)

(4) 薬剤師研修・認定電子システム(PECS)登録薬剤師数 (令和7年3月31日現在)	193,020 名	( 180,947 名)
---	-----------	--------------

### 2 研修実施機関の登録と単位の交付

#### (1) 研修実施機関

申請による登録研修実施機関数(※は重複あり) (令和7年3月31日現在)	1014 機関	( 986 機関)
うち集合研修実施機関※	921 機関	( 893 機関)
うち学術集会実施機関※	143 機関	( 133 機関)
うちe-ラーニング研修実施機関	7 機関	( 7 機関)
うちウェブ利用研修(集合研修即時配信)実施機関※	664 機関	( 641 機関)
うちウェブ利用研修(学術集会)実施機関※	88 機関	( 85 機関)
うちウェブ利用研修(集合研修アーカイブ配信)実施機関※	14 機関	( - 機関)
漢方薬・生薬認定薬剤師のための薬用植物園	61 軒	( 55 軒)
小児薬物療法認定薬剤師のための実習施設	9 軒	( 16 軒)

(2) 研修会開催許可数	9508 件	( 9,914 件)
集合研修	4929 件	( 5,112 件)
学術集会	112 件	( 102 件)
ウェブ利用研修(集合研修即時配信)	4410 件	( 4,648 件)
ウェブ利用研修(学術集会)	29 件	( 36 件)
ウェブ利用研修(集合研修アーカイブ配信)	1 件	( - 件)
e-ラーニング研修	27 件	( 16 件)

#### (3) 研修会開催支援

研修会開催経費の支援件数	109 件	106 件
うち、漢方薬・生薬、小児関連の研修	47 件	22 件

### 3 研修会開催

#### 1) 座学(講義)形式による研修会

##### (1) 病態・薬理シリーズ研修

肺がん	(大阪)	60名
肺がん	(東京)	106名
慢性腎臓病	(大阪)	中止
慢性腎臓病	(東京)	91名

(2) 令和6年度漢方薬・生薬研修(全9回、新規認定取得者用:東京)	99名
------------------------------------	-----

#### 2) ビデオ・オン・デマンド(VOD)研修

##### (1) 病態・薬理シリーズ研修

① 国際感染症Ⅰ(平成30年度後期収録)	30名
② 国際感染症Ⅱ(令和元年度後期収録)	30名
③ 国際感染症Ⅲ(令和2年度後期収録)	30名
④ 高血圧症(令和3年度後期収録)	40名
⑤ 大腸がん(令和4年度前期収録)	50名
⑥ 乳がん(令和5年度前期収録)	50名
⑦ 肺がん(令和6年度前期収録)	20名
⑧ 慢性腎臓病(令和6年度後期収録)	9名

(2) 薬剤疫学入門セミナー(令和2年11月)	30名
-------------------------	-----

(3) 医薬品医療機器法に基づく医薬品の安全対策(令和3年3月)	21名
----------------------------------	-----

(4) 医薬品の品質確保の基礎知識(令和3年11月)	16名
----------------------------	-----

(5) 薬剤師が実践するコンコーダンス・モデル(令和4年2月)	25名
---------------------------------	-----

(6) バイオ医薬品による医療の進歩(令和6年2月)	18名
----------------------------	-----

#### 3) e-ラーニング

##### (1) 病態・薬理シリーズ研修

① 国際感染症Ⅰ(平成30年度後期収録)	100名
② 国際感染症Ⅱ(令和元年度後期収録)	80名
③ 国際感染症Ⅲ(令和2年度後期収録)	94名
④ 高血圧症(令和3年度後期収録)	200名
⑤ 大腸がん(令和4年度前期収録)	150名
⑥ 乳がん(令和5年度前期収録)	198名
⑦ 肺がん(令和6年度前期収録)	77名
⑧ 慢性腎臓病(令和6年度後期収録)	63名

(2) 薬剤疫学入門セミナー(令和2年11月)	80名
-------------------------	-----

(3) 医薬品医療機器法に基づく医薬品の安全対策(令和3年3月)	66名
----------------------------------	-----

(4) 医薬品の品質確保の基礎知識(令和3年11月)	54名
----------------------------	-----

(5) 薬剤師が実践するコンコーダンス・モデル(令和4年2月)	81名
---------------------------------	-----

(6) 薬物性肝障害(令和5年7月)	278名
--------------------	------

(7) バイオ医薬品による医療の進歩(令和6年2月)	136名
----------------------------	------

(8) 違法薬物に関する薬剤師向け研修(令和6年3月)	218名
-----------------------------	------

(9) 厚生労働省ガイドラインを踏まえた意思決定支援等に関する薬剤師向け研修 (令和6年9月)	184名
--	------

##### (10) 漢方薬・生薬研修

① 漢方薬・生薬薬剤師講座31(令和6年度の更新者向け)	1,213名
------------------------------	--------

② 令和6年度漢方薬・生薬研修(全9回、新規認定取得者用)	500名
-------------------------------	------

(11)漢方薬・生薬認定薬剤師制度特別講義（令和4年11月）	
①生薬のフィールドワークよもやま話一桂皮（シナモン）編一	257名
②漢方エキス製剤の製造管理・品質管理	183名
③国内の薬用植物分布と薬用植物観察会	188名
④天然物と抗がん剤の関わり	197名
⑤農業に用いられる天然物	171名
(12)小児薬物療法認定薬剤師に係る研修会	250名

#### 4)実習研修

(1)薬用植物園実習（初回認定対象者を除く。）	215名
実習実施施設：全国薬科大学、公的機関植物園、企業植物園など	43か所
(2)小児薬物療法1日実務研修	11名
研修受入施設登録数	5施設
5)健康サポート薬局研修（修了証交付（再交付を除く））	2,578名（2,833名）
（令和7年3月31日現在の有効な修了証数）	15,306名（15,261名）

#### 4 委員会

- (1)研修認定制度委員会  
令和6年5月10日（金）
- (2)漢方薬・生薬研修委員会（全4回：第1回、第3回はウェブ）  
令和6年8月26日（月）  
令和6年10月3日（木）  
令和6年10月17日（木）  
令和6年11月14日（木）
- (3)小児薬物療法研修委員会（2回）  
令和6年4月9日（火）小児薬物療法認定薬剤師認定試験委員会と合同（ウェブ）  
令和6年5月29日（水）小児薬物療法認定薬剤師認定試験委員会と合同（メール）
- (4)小児薬物療法認定薬剤師認定試験委員会（2回）  
令和6年4月9日（火）小児薬物療法研修委員会と合同（ウェブ）  
令和6年5月29日（水）小児薬物療法研修委員会と合同（メール）
- (5)薬剤師生涯学習達成度確認試験運営協議会（1回：ウェブ）  
令和6年9月10日（火）実務委員会と合同開催
- (6)薬剤師生涯学習達成度確認試験実務委員会（1回：ウェブ）  
令和6年9月10日（火）運営協議会と合同開催
- (7)小児医療にかかる認定薬剤師の実態等に関する調査事業 検討委員会  
令和6年12月9日（月）第1回検討会（ウェブ併用）  
令和7年1月28日（火）第2回検討会（ウェブ併用）  
令和7年2月28日（金）第3回検討会（ウェブ併用）

#### 5 広報

- (1)「研修センターニュース」の発行（毎月約3,800部）
- (2)インターネット・ホームページによる事業の紹介
- (3)メールマガジン配信（毎月約34,000件）

#### II 出版・監修関係

編集書籍（継続販売）

第十八改正日本薬局方医薬品情報 JP DI 2021（令和3年6月編集（株じほう発行））

### Ⅲ 法人関係

#### 1 理事会、評議員会

##### (理事会)

令和6年6月6日(木) 令和6年度第1回理事会(ウェブ併用)

- (1) 令和5年度事業報告
- (2) 令和5年度決算
- (3) -1 事務所移転等費用積立金に係る代表理事が定める令和5年度の積立額の確定
- (3) -2 研修認定薬剤師認定事業積立資金預金に係る代表理事が定める令和5年度の積立額の確定
- (4) 事務処理規則の一部改正について
- (5) 内閣府提出資料(事業報告等に係る提出書)
- (6) 評議員会の開催及び評議員の候補者の選定について
- (7) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況(報告)
- (8) 認定薬剤師の認定状況について(報告)

令和6年7月 令和6年度臨時理事会(決議の省略方式による)

決議があったと見なされた日 令和6年7月10日(水)

- (1) 理事候補者の選定
- (2) 名誉顧問の称号の贈与
- (3) 決議の省略の方式による評議員への提案

令和6年8月 令和6年度臨時理事会(決議の省略方式による)

決議があったと見なされた日 令和6年8月21日(水)

- (1) 評議員候補者の選定
- (2) 決議の省略の方式による評議員への提案

令和7年3月25日(火) 令和6年度第2回理事会(ウェブ併用)

- (1) 令和7年度事業計画案
- (2) 令和7年度収支予算案
- (3) 特定費用準備資金
- (4) 事務処理規則の一部改正
- (5) 職員給与規程の一部改正
- (6) 名誉顧問の称号贈与
- (7) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況(報告)
- (8) 認定薬剤師の認定状況等(報告)

##### (評議員会)

令和6年6月25日(火) 令和6年度第1回評議員会

- (1) 令和5年度決算
- (2) 評議員の選任
- (3) 令和5年度事業報告(報告)
- (4) 認定薬剤師の認定状況等(報告)

令和6年7月 令和6年度臨時評議員会(決議の省略方式による)

決議があったと見なされた日 令和6年7月25日(木)

- (1) 理事の選任

令和6年8月 令和6年度臨時評議員会(決議の省略方式による)

決議があったと見なされた日 令和6年8月30日(金)

- (1) 評議員の選任

## 2 賛助会員

令和7年3月31日現在

賛助会員(個人) 248 名 ( 273 名)

特別賛助会員(企業等) 25 団体 ( 27 団体)

特別賛助会員一覧(五十音順)

あすか製薬株式会社	大正製薬株式会社
アステラス製薬株式会社	田辺三菱製薬株式会社
イーエヌ大塚製薬株式会社	株式会社ツムラ
一般社団法人医薬総合研究会	一般財団法人日本医薬情報センター
大塚製薬株式会社	一般社団法人日本女性薬剤師会
クラフト株式会社	公益社団法人日本薬剤師会
クレコンリサーチアンドコンサルティング株式会社	株式会社ファーマシィ
興和株式会社	富士フィルム富山化学株式会社
小太郎漢方製薬株式会社	学校法人北陸大学 薬学部
佐藤製薬株式会社	一般社団法人マナラボプラス
株式会社じほう	株式会社薬事日報社
公益財団法人杉浦記念財団	湧永製薬株式会社
全薬工業株式会社	